

埼玉県こども計画(仮称)が目指す将来像について(案)

こども・若者、子育てをめぐる状況が多様化・複雑化する中で、「埼玉県こども計画(仮称)」では、これまでの取組の充実を図りつつ、新たな課題に対応し、こどもまんなか社会の実現を目指します。

将来像
①

こども・若者の意見
が尊重され、最善の利
益が優先される社会

将来像
②

こども・若者が夢や
希望を持ち、健やかに
成長・活躍できる社会

将来像
③

こどもを生き育てる
ことに喜びを実感でき、
子育て当事者が地域全
体から支えられる社会

「こどもまんなか社会」の実現

「こどもまんなか社会」…

全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会(「こども大綱」より)

埼玉県こども計画(仮称)が目指す将来像について(解説)(案)

【解説】 (埼玉県こども計画(仮称)が目指す将来像)

こども・若者は、「社会の大切な宝」であり、次世代の担い手です。

全てのこども・若者は、個人として尊重され、その基本的人権が保障されること、差別的な取扱いを受けないこと、様々な場面でその年齢及び発達に応じて意見を表明する機会が確保される必要があります。

また、次代を担うこども・若者が健やかに成長・活躍する社会を実現するためには、こども・若者が愛され、夢や希望を持ちながら、その持てる能力を十分に発揮できることが重要です。

さらに、こどもを持つことに希望を持ち、その希望が叶う社会を目指すためには、地域全体で子育て当事者を支え、こどもを生み育てることに喜びを実感できることが大切となります。

これらは、本県が目指す「日本一暮らしやすい埼玉」の理念にも共通するものです。

こども・若者が誰一人取り残されず、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

埼玉県こども計画(仮称)の施策が目指す将来像①について(案)

将来像

①

こども・若者の意見が尊重され、最善の利益が優先される社会

背景

- こどもを権利の主体とし、こどもの最善の利益を第一に考えることを原則に、こどもの様々な権利を定めた「児童の権利に関する条約(こどもの権利条約)」に沿って、「こども基本法」が制定・施行されました。
- 「こども基本法」では、こどもたちが意見を表明する機会が確保されること、意見が尊重され最善の利益が優先して考慮されること、こども施策に当事者であるこどもたちの意見を反映すること等が求められています。

目指すべき将来像

- 全てのこども・若者を、一人ひとりが多様な人格を持った個人として尊重し、その権利を保障するために、様々な場面でその年齢及び発達の程度に応じてこども・若者の意見表明の機会を確保するとともに、自己選択や自己実現を促す取組を進め、こども・若者の最善の利益が優先して考慮される社会を目指します。

埼玉県こども計画(仮称)の施策が目指す将来像②について(案)

将来像
②

こども・若者が夢や希望を持ち、健やかに成長・活躍できる社会

背景

- こども・若者を取り巻く環境は変化しており、いじめや不登校、貧困などの様々な困難を有するこども・若者の問題に加え、ヤングケアラーに関する問題の顕在化、性の多様性への意識の高まりなど、新たな課題への対応も求められます。
- 全てのこども・若者が生まれ育った環境に左右されずに夢や希望を持ってチャレンジできる環境をつくり、適切に養育・保護されながら成長・活躍できるよう、こども・若者を地域全体で見守り、手を差し伸べていくことが重要です。

目指すべき将来像

- こども・若者が安心して過ごすことができ、様々な学びや生き抜く力を得るための糧となるような多様な活動に接することのできる、こども・若者の成長を育み、こども・若者とともにつくる居場所の充実を目指します。また、こども・若者の社会的活動への参画の推進を目指します。
- 親と子の健康支援や、様々な状況にあるこども・若者への支援、こども・若者を取り巻く犯罪などの危険への対策等により、全てのこども・若者が健やかに成長することを目指します。
- 虐待のない社会を実現するとともに、実親による養育が困難であれば、家庭養育を優先しながら、家庭と同等の養育環境である里親等による養育を行うなど、生まれ育った環境に左右されずに成長し、自立できるよう支援する社会を目指します。
- キャリア教育や就労支援により、自らの可能性に果敢に挑戦するこども・若者が未来を切り拓いていけることを目指します。

埼玉県こども計画(仮称)の施策が目指す将来像③について(案)

将来像
③

こどもを生き育てることに喜びを実感でき、子育て当事者が地域全体から支えられる社会

背景

- 未婚化や晩婚化、非正規雇用者の増加など、様々な要因により少子化が進む中、結婚や出産を考える世代が、結婚、妊娠・出産、子育てに希望を持ち、その希望が叶えられる社会が求められます。
- こどもが教育を受ける機会を確保するとともに、体験活動等を通じた自立的な成長を支援することが求められます。
- 子育て支援策の充実やワークライフバランスの推進などにより、安心してこどもを生き育てることができる環境づくりが必要です。

目指すべき将来像

- こども・若者や子育て当事者が暮らしやすい社会に向けた気運の醸成やまちづくりを目指します。
- 結婚・出産に希望を持つ人が、安心してこどもを生き育てられるように、家庭での子育てを支援するとともに、地域全体で子育て当事者を支えることで、孤独や不安を軽減し、安心して子育てできる社会を目指します。
- 変化する時代にこども・若者が対応する力を持てるよう、学校教育の充実や自立的な「子育て」の推進を目指します。
- 学校や地域、NPO等の多様な担い手が、それぞれの得意分野や知見を生かし、子育てしやすい環境づくりに向けた活動ができる社会、働き方改革の進展と、共に家事・育児を担う「共育て」の推進を目指します。